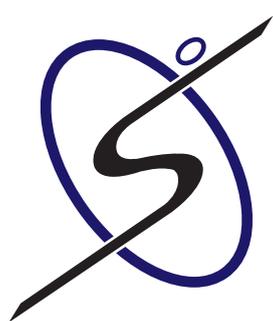




日本医療機能評価機構

より高度な整形外科医療を志すために



たかおか 整志会

TAKAOKA SEISHIKAI

| 広 | 報 | 誌 |
2023
新年号
No.67

CONTENTS もくじ

- 2 巻頭言 金粕副院長
- 3 医療安全管理室
- 4 第37回院内研究発表会
- 5 4病院研修会
- 6 「ラジオ体操教室」の開催
- 7 新人職員紹介

高岡整志会病院 基本理念

- 1.市民の健康・医療・福祉の向上を目指し、明るい豊かな生活の実現に貢献します。
- 2.職員が生き生きとして豊かにその使命を発揮する場を作り、患者さんが迅速に社会復帰できるように努めます。
- 3.整形外科専門病院として、すべての患者さんの尊厳と権利を尊重し、最先端の技術で患者さん中心の治療を実践します。



日本医療機能評価機構認定病院

冬の古城公園「朝陽橋」

高岡古城公園は三つの水濠に囲まれており、その面積は全体の3分の1を占め、築城時のままに豊かな水をたたえた水濠公園が特徴です。公園に架かる3つの橋の1つ、本丸と小竹藪をつなぐ内濠に架かる赤色の太鼓橋。公園の名物の1つです。雪景色の朝陽橋はとても幻想的です。四季折々の風景が楽しめます。 撮影者：看護師主任 松原 知世

巻 | 頭 | 言

The greeting of the beginning of a book



利他の心で常に明るく前向きに生きる

副院長 金粕 浩一

昨年は3年に及ぶ新型コロナウイルス感染症の蔓延とその対策に尽力した1年間でした。コロナ禍の閉塞感が人々の不安感を喚起し、利己主義と排他的行動の台頭により、人々が自由で幸せに生きる権利が脅かされています。そこで、利己主義の対極にある利他的な考えを実践し、社会に広めた稲盛和夫さんの言葉を思い出します。稲盛さんは27歳で京セラを創業して世界的な企業に成長させただけでなく、52歳でKDDI(第二電電)を創業して大企業に育て上げ、京都賞を創設し、78歳で政府の要請で倒産した日本航空の再建に着手して短期間に再建を成し遂げられました。令和4年8月に90歳で亡くなられた稲盛さんの言葉は年齢や職種を越えて、多くの人に影響を及ぼしています。「動機善なりや、私心なかりしか」、すなわち利他の心で皆を幸せにしてあげたいと強く意識し、生きていくことの尊さを、私は人として最も大事と考えています。

高岡整志会病院は70床の脊椎手術を主とする整形外科専門病院ですが、麻酔科医師による「痛み緩和診療外来」と「慢性の痛み外来」も行なわれています。県外の患者さんが半数を占め、沖縄県や関東圏など遠方からも来られます。大学病院などで複数回の手術を受けても良ならず、担当医師から冷たくされたなど、行き場をなくした患者さんやご家族が知人からの口コミで、当院を最後の砦と考えて受診されています。胸椎黄色靭帯骨化症合併例など、手術すべき部位を見極めるのが困難な例が多いのですが、当院の川岸利光院長から「今まで辛かったですね。手術を受けて良くなりますよ」との説明を受け、実際に手術後「長年悩んでいた痛みや苦しみから解放されました」と明るい笑顔で退院されるのを拝見すると、当院に勤めて良かったと感じます。川岸院長は医師の中で一番早く出勤し、毎日朝6時半頃から全ての入院患者さんに“おはよう回診”を創設以来三十数年以上続けています。患者さんからのご意見箱の内容を確認すると、「コロナ禍で家族の面会もなく、孤独感があったのが、院長から明るい声で励まされたことに感謝します。良くなりました」が半数以上を占めています。

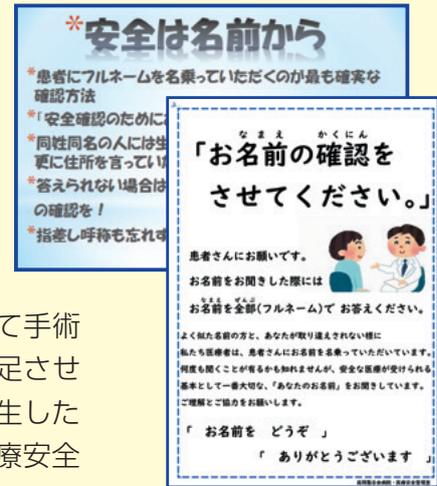
院長は常に170名以上の職員に対して、「職員とその家族が健康で、経済的にも幸せに生き続けることを支えるのが院長の役目です」と激励しています。人としての成長や能力の向上は金銭以外の重要な報酬です。職員全員が真摯さと意識および能力において成長するほどに人として成長し、人が成長するとき、病院はさらに多くを成し遂げるものと信じております。今年もチーム高岡整志会病院として、患者さんと社会に貢献し、さらなる高みをめざしましょう。

医療安全管理室

医療安全管理室の歴史

医療安全管理室は佐藤根副院长（医療安全管理責任者）と高畑医療安全管理者の2名からなり、安全で質の高い医療を提供できるように、医療安全管理委員会に所属する委員と、医療機器部会、医療安全推進部会、感染制御チームなどが活動しています。

「医療安全」の言葉と安全対策の必要性が多くの人々の知る事となったのが1999年に神奈川県で、肺と心臓の患者が取り違えて手術された事例からです。当院では2001年に医療安全管理委員会を発足させ活動を開始しました。医療安全管理室と専従の医療安全管理者が誕生したのは2007年です。初代の盛田医療安全管理者は就任後、早速に医療安全管理室運営規定を作成し、医療安全管理者としての行動目標を掲げました。以降、病院全体の安全管理を担いながら活動し、2015年に多地、2021年に水口、2022年からは高畑が医療安全管理者として、日々医療事故の防止と、医療の安全性を確保する活動をしています。



活発な医療安全活動

医療安全の最大の目的は、『患者さんの安全を守る』事、そして医療従事者も安全に働ける事、それは病院全体が安全であるという事です。医療安全活動として、病院内で発生しているヒヤリ・ハットした出来事を「インシデントレポート」として収集し、出来事の当事者や、患者さんの詳しい状況を、病院全体で考え、対策をする会議を毎週行っています。医療安全推進部会の活動として、院内の危険個所について査察し安全意識を高め、働きやすい環境を提案する院内ラウンド部門、転倒・転落の原因の追及、再発防止策を提案する転倒・転落対策部門、過去にヒヤリ・ハットした出来事を振り返り、手順の見直しや再発防止策を提案するマニュアル部門、全職員を対象とした安全に関する研修会を企画・開催する院内研修部門など、どの部門も安全に配慮した療養環境と、働きやすい職場作りを目指し活動しています。

病院職員を対象に「医療安全ニュース」を2007年6月に創刊しました。第1号の内容は「当院における医療安全管理対策指針」の紹介と「ヒューマンファクターとは？」の解説です。当院の5Sのシンボルマークがタイトルに用いられたのは第5号からで、現在は第162号を公開しています。公開は職員のみで、ミスを起こさないためのワンポイント講義、医療安全情報、院内での行動を振り返り安全対策について提案する内容となっています。



医療機器部会と安全

院内には多くの医療機器があり、その安全管理は重要です。一元管理できるように、機器の導入や更新時の説明会・研修会に立会い、資料を保存。医療機器台帳に登録番号、納入業者、日付などを記載します。機器には同内容のラベルを貼り、問題が有るときには業者や事務部門と迅速に対応できるような連絡体制をとっています。eラーニングを利用しながら定期的に職員の研修会を行っています。初めて操作する機器はもちろん、毎年医療機器に関する研修会を行い、再学習の機会としています。医療機器の進化にあわせ、安全に操作を行うための課題解決に職員と共に取り組んでいます。

第37回院内研究発表会

2022年12月10日(土) 於:ホテルニューオータニ高岡 (月例委員会)

2022年度の院内研究発表会が12月10日にホテルニューオータニ高岡にて開催されました。本年度のテーマは、『結集』～チーム力で整志会の未来を紡ぐ～です。今こそ当院の専門職ひとりひとりの力を結集し、チーム整志会として心をついに、そして未来に向けてさらなる飛躍につなげるという思いを込めた研究発表会となりました。当日は院内各部署より20題の様々な研究が発表され、活発な意見交換があり大変有意義な研究発表会となりました。



川岸院長



演者 小山 一茂医師



総司会
黒木 小百合看護主任



演題

1. 症例レジストリー-症例登録に伴い 第2報
診療情報管理室 伏江絵史子
2. 外来処方の適正化に向けた取り組み
～薬剤事務とともに進める適正化～
薬剤科 川原由紀子
3. 安全な食事提供を目指して
栄養管理科 林 桂好
4. 活用しやすい資料作りを目指して
～伝えやすく、分かりやすく～
医事課B 加納 由記
5. コスト削減を目指して-第2報-
～物品発注票に購入理由記載等による効果の検討～
混合チーム 村中 謙顕
6. 膝関節軸位撮影における患者の負担軽減を目指して
画像技術科 横田 晃
7. 医師事務作業補助室の働き方改革
医師事務作業補助室 北條 遥奈
8. 患者相談体制の充実に向けて
地域医療福祉連携室 坂田 明世
9. 骨粗鬆症治療を行う患者への有効な指導に向けての
取り組み 第2報
外来 羽座差百合
10. オンライン資格確認システムを導入して
医事課A 川越 莉子
11. 頸椎手術患者のパンフレット作成を試みて
病棟B 扇割 達也
12. 術前ばん君の見直し
手術室 河辺 薫
13. 病棟看護師の夜勤業務改善
病棟A 徳田はやり
14. THAの退院指導の統一化に向けて
病棟D 宮本 涼介
15. 人工膝関節全置換術の術前、術後患者満足度比較と
術後3ヶ月の患者満足度に影響を及ぼす要因
リハビリテーション科 奥野 清孝
16. 褥瘡好発部位の体圧及び体位変換の調査
褥瘡チーム 前馬さと美
17. 看護師の睡眠からみた健康・社会的問題の実態調査
病棟C 大杉 幸子
18. インシデント・アクシデント事例報告の意識調査
医療安全チーム 中谷美奈子
19. 当院におけるせん妄を発症した患者の傾向と課題
認知症ケアチーム 平澤 直美
20. 当院における胸椎黄色靭帯骨化摘出術の退院時治療
成績
医局 小山 一茂

令和4年度 4病院研修会

事務部長 竹脇 敬直

令和4年10月22日に大分県中津市の川島整形外科病院で開催された4病院研修会に参加しました。昨年度は、オンライン研修会の参加で、各病院が一同に会して開催する研修会は、当院が幹事病院として高岡で開催した平成30年8月以来、実に4年ぶりの研修会となりました。

今年の全体テーマは、「Withコロナにおける令和4年度診療報酬改定への対応と今後の戦略」でした。各部門ともコロナ禍の中で、さらに診療報酬改定で厳しい状況の中、よりよい医療を行うためにはどのようにすればよいのかを真剣に討議し、全体討議の中では、各部門の代表者が発表し、各部門の各病院の代表が会場からの質疑応答に活発に答えていました。

コロナ禍の中、どの病院も苦労をされており、意見交換の場ではいろいろな話を聞くことができ、対面での研修会は貴重な経験となりました。当院からは、27名が参加しましたが、参加した全員が貴重な経験ができ、大変有意義な研修会だったと感激していました。このような厳しい時期に研修会を開催された幹事病院の川島整形外科病院の皆様には感謝申し上げます。



医局部門発表 澤田利匡診療部長



川島理事長、川島院長と共に記念撮影

学 術 活 動

¹整形外科 ²麻酔科 ³リハビリテーション科 ⁴薬剤科

◆第32回日本医療薬学会年会

2022年9月23日～25日 Gメッセ群馬・高崎芸術劇場

「タスク・シフト推進に向けた業務効率化の戦略～薬剤事務と共に進める取り組み～」

○篠田健一⁴、川原由紀子⁴

◆第55回日本薬剤師会学術大会

2022年10月9日～10日 仙台国際センター

「当院における医療従事者等を対象とした新型コロナワクチン接種後の副反応調査～3回接種後の副反応評価～」

○篠田健一⁴、川原由紀子⁴

◆第38回東海北陸理学療法学会学術大会

2022年10月29日～30日 オンライン開催

「人工膝関節全置換術後3か月における階段昇降時痛または坂道歩行時痛に関わる要因の検討～パイロットスタディ～」

○谷敷正樹³、中村秀恒³、高橋寛³、沢崎亨³、赤江要³、奥野清孝³、金粕浩一¹

◆日本臨床麻酔学会第42回大会

2022年11月11日～12日 国立京都国際会館

「整形外科病院における輸血拒否22症例と輸血施行12症例の検討」

○神谷和男²、畠山登²、坂巻緑²

消防訓練

令和4年12月2日(金) 〈防災管理委員会〉

当院において年に2回行っている消防訓練の2回目を実施しました。消防訓練ではコロナウイルスへの感染対策も十分に行い、マスクの着用や手指衛生などスタッフ協力のもと無事に訓練を終えることが出来ました。

今回の消防訓練では夜間帯の出火を想定し、実施経験の少ない、2病棟の浴室からの出火で行いました。高岡消防署から署員の出向もあり、参加者たちには緊張も見られましたが、初期消火から避難完了まで時間内に対応することが出来ました。今後もあらゆるシチュエーションにおいて的確・迅速に対応出来るように、様々な状況に応じた消防訓練を実施していきたいと思えます。



リハビリスタッフによる「ラジオ体操教室」の開催

令和4年11月25日(金) 於 会議室

当院の入院患者さんを対象にリハビリスタッフによる「ラジオ体操教室」を開催しました。患者さんは体の状態に合わせて立位や椅子を使用した座位で、ラジオ体操の第一・第二を動画に合わせて行いました。参加者からは「リハビリ職員の方が見本になって実際に行ってくれたところがよかった」「退院してからもラジオ体操をやっていきたい！」など貴重な感想をいただきました。

リハビリテーション科では、入院中の患者さんに退院後の体操は何かいいかと聞かれると「ラジオ体操」を勧めています。少しずつできる範囲で、朝日を浴びながらラジオ体操ならではの音楽を活かし、楽しみながら習慣にしていきたいと思います。



職場における健康づくり～出張講座～

令和4年10月21日(金)、11月4日(金) 〈衛生委員会〉

第1回目は「ストレス解消体操と健康ストレッチ」を行いました。講師に健康運動実践指導者の石川菜奈子先生をお招きし、椅子を使用した座位や立位で行う健康体操を教わりました。日常生活では、あまり動かす機会が少ない頸や肩まわり、また腰部を中心にストレッチを行い、体の歪みや自身のくせを知ることができ、とても勉強になりました。石川先生の和やかなご指導のもと有意義な時間を過ごしリフレッシュができました。

第2回目は、日本人なら誰もが体験したことのある「ラジオ体操」でした。1級ラジオ体操指導士の田中裕子先生をお招きし、約1時間かけてラジオ体操の13の動作を細かく指導していただきました。田中先生のはつらつとしたご指導は、昼下がりの眠気が吹き飛ばすほど活気にあふれていました。これまで何気なく行ってきたラジオ体操でしたが、手足の向き、体幹の動かし方、動作の意味などのポイントを知ることができ理解が深まったと思います。

場所を選ばずどこでも気軽に行えるラジオ体操を今後も継続していきたいと思えます。



看護部救急シミュレーション

令和4年10月14日(金) 於 大会議室

看護部で行った救急シミュレーションでは急変患者発見から患者の状態把握・医師への報告・医師到着後の処置介助（挿管介助まで）の流れにそって麻酔科医1名看護師3名のチームを2グループ作り行いました。また、麻酔科医によるバックバブルマスクの正しいつけ方や挿管について指導していただきました。参加者からは「視野を広くして全体を見てスタッフが何をしているのか把握して行動することが大切」などの感想がありました。医師から「急変があれば早く見つけて人を呼ぶ・今回出た問題点は次回出来るように練習する。繰り返し訓練を行うことが大切」と総評をいただきました。



新人職員紹介



薬剤師
後藤 益生

11月からお世話になっております。病院での勤務は初めてですので、1日も早く勤務に馴染むように努力いたします。皆様からの忌憚のないご助言・ご指導が頂けますと幸いです。



薬剤師
久保 智子

11月からお世話になっております。これまで調剤薬局などに従事しておりました。病院勤務は初めてで手術における特殊性を理解することをはじめとして日々学びの連続です。患者さんに安心・安全な医療提供の一端を担えるよう努めたいと思っております。ご指導をよろしくお願いいたします。



薬剤師
西沖 航平

6月より薬剤科で勤務させていただいております。新人薬剤師として地域医療に関わるご縁に恵まれたことに感謝しております。少しでも皆様のお力になれるよう日々精進して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



看護師
白石 由佳

10月に入職しました。不慣れで戸惑うこともありますが先輩方にご指導を頂きながら仕事に取り組んでいます。早く慣れて、もっと成長できるよう笑顔で頑張ります。



看護師
桜井 怜奈

11月より手術室で勤務しています。整形外科専門の病院で勤務するのは初めてで、分からない事もたくさんありますが、一日でも早く貢献できるように頑張ります。また、疾患による症状で手術をされた患者さんが、再び自分らしく生活できるよう手術室看護を通じて支援していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



看護補助者
松木 佳弥乃

12月より勤務させていただいております。不慣れなことも多々ありますが、少しでも力になれるよう努力いたします。よろしくお願ひします。





地域における「かかりつけ医」から整形外科専門病院として、

■患者さんの権利

1. プライバシーと尊厳が守られ、差別なく公平な医療を受けることができます。
2. 十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方法などを自らの意志で決めることができます。

～個人情報保護法について～

当院では、個人情報保護管理委員会を設置し、患者さんの個人情報保護に全力で取り組んでいます。ご意見、ご質問は総合受付へお気軽にご相談下さい。

■ 外来診療担当医師のお知らせ

2023年1月10日より

		月	火	水	木	金	土
午前	整形外科	8:00~12:00				8:30~12:00	7:30~12:00
		川岸	川岸	田中 金粕	川岸	澤田 小山	川岸 (第1・2・3・5土曜日) 金粕 (奇数月 第4土曜日) 田中 (偶数月 第4土曜日)
	関節外科	9:30~12:00			第2・4木曜日 8:00~9:20 中野(予約制)		
	整形外科一般	瀬川			9:30~12:00 瀬川	第1・3金曜日 9:30~12:00 瀬川(予約制)	
	側弯外来						第2土曜日 9:00~11:00 関
痛み緩和 診療外来					第2・4金曜日 9:00~11:40 神谷(予約制)		
午後	整形外科	2:00~6:00	2:00~6:00	1:30~2:00	2:00~6:00	休診	
		田中	澤田	澤田(予約制)	金粕		
	2:00~6:00	2:00~6:00	2:00~6:00	2:00~6:00			
	金粕	瀬川	澤田	田中			
	股関節外来			2:00~5:00 高橋(予約制あり)			
	慢性の 痛み外来		2:00~6:00 畠山(予約制)				
痛み緩和 診療外来			第1・2・4・5水曜日 3:00~5:00 神谷(予約制)	2:00~6:00 神谷(予約制)			
発熱外来	1:00~2:00 川岸利臣(予約制)						

※中原医師の診察は、しばらくの間休診となります。

- 午後の診察の受付は午前より行っています。
 - 午前(月~木)の診察は、手術により12時以降は他の医師の診察となる場合がありますのでご了承ください。
 - 担当医師が学会等で不在や診療時間が急に変更になる場合がございますので、事前にお問い合わせください。
- ホームページにもご案内しております。 電話によるお問い合わせ 月~木 9:00~17:00、金・土 9:00~12:00

病院周辺図



- ◆ あいの風とやま鉄道で高岡駅下車
古城公園口(北口)より約700m 徒歩約8分
- ◆ 北陸新幹線で新高岡駅下車
新高岡駅より約3km タクシーで約10分

※新高岡駅~高岡駅間は、
城端線で約5分、バスで約15分

〒933-0039 富山県高岡市大手町 8-3-1
TEL (0766) 22-2468
FAX (0766) 26-7948

編集後記

今年は卯年です。卯のように明るく跳び跳ねて様々な問題に負けない様に頑張っていきたいと思います!今年一年よろしくお祈りいたします。(S)

ホームページに
アクセスできます

